

現状認識

国内外における社会情勢の変化

- 自国第一主義の台頭、国際協調の枠組みの弱体化
- 地球温暖化等グローバルな環境問題の顕在化
- 先進国を中心とする少子高齢化への対応が重要な課題に
- グローバルIT企業の台頭と、個人情報管理やデータ独占への不安

新型コロナによる変化

- 社会は一変 - 治療薬・ワクチン開発は国際競争、自国第一主義に拍車
- 経済活動の縮小とサプライチェーンの分断
- 生活も一変 - 「密」を避ける生活・働き方の変化
- 健康・セルフケアに対する意識の変化

科学技術・イノベーション政策の振り返り

- 科学技術基本法の改正 - 科学技術・イノベーション政策は、人文・社会科学を含めた「総合知」により、価値観を形成し、社会を変革する総合的な政策へと進化が必要。
- デジタル化の遅れ - 日本はクオリティの高いデータの収集が可能であるが、各所において独自のIT化を進めた結果、相互接続やデータ活用ができない機能不全の状況。
- 研究力の低下 - 若手研究者の研究環境の悪化 等

世界秩序の変革期。新型コロナはその変化に拍車。世界は新たな社会の仕組み、価値観を模索

社会のリ・デザイン (Society 5.0の具体化)

デジタル・トランスフォーメーションを通じ、科学的・社会的アプローチにより、「国民の安全・安心の確保」と「人類の幸福(Human well-being)の実現」を目指す

- < 持続性の確保 > :
- 2050年のカーボンニュートラル・脱炭素化などSDGsの達成
 - 少子高齢化の状況下での社会の安定(健康・医療等)
 - 社会課題解決をビジネスチャンスに

- < 人生100年時代の多様な幸せのかたち >
- 個人の不安の解消と多様な自己実現のための環境の整備
 - 子ども達がワクワクし夢を持てる教育環境の実現
 - 多様な働き方を可能にする労働・雇用環境の実現
 - 老若男女に関わらず参画可能な社会経済システムの構築
 - 社会的弱者(身体・情報)も当事者として活躍できる
 - リアルとサイバーの役割分担により都市・地方それぞれの発展を実現
 - 最期まで幸せに生ききる多様な選択肢の提供

- < 国際社会におけるプレゼンス向上 >
- 「自然との共生」、「分かち合いの精神」、「三方よし」などの日本の伝統的価値観を踏まえた目指すべき社会像を言語化し、科学技術により世界に通用する汎用モデルとして実現
 - この社会像を「Society5.0」として世界と共有し、高い信頼性(トラスト)を有する日本がイニシアティブをとり、世界と連携

- < 強靱性の確保 >
- 自然災害、インフラ老朽化、感染症、サイバー攻撃やサプライチェーンの分断等の国民生活及び経済社会への様々な脅威に対し、総合的な安全保障を実現

「科学技術・イノベーション政策」は、次の5年間で目指すべき社会像を具体化し、実現に向けた「社会変革」を断行。その先を見据えた「未来への投資」を推進

Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

社会のリ・デザイン(未来像の具体化と実現)のための政策

- 人文・社会科学を含めた「総合知」を活用し、目指すべき未来像の具体化や実現のための政策を立案・実行
- エビデンスに基づいた政策立案と迅速な政策の修正

イノベーション力の強化による社会変革の断行

- (1) デジタル化の徹底
 - 政府のデジタル化、データ戦略の確実な実施
 - Beyond 5G、スパコン、宇宙システム(衛星データ等)等の次世代インフラ整備
- (2) カーボンニュートラルの実現(2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ)
 - 革新的環境イノベーション戦略、ムーンショット型研究開発の推進
- (3) 安全・安心で強靱な社会の構築
 - 脅威に対応するための重要技術の特定と研究開発、社会実装及び流出対策の推進
- (4) 社会課題の解決に向けた研究開発の推進と社会実装力の向上
 - 人文・社会科学を含めた総合知の活用、社会受容性の向上策
 - SIP制度の効果的活用、知財・標準の活用等による社会実装の推進・国際連携・展開
 - AI、量子技術、バイオ、マテリアルや、宇宙、海洋、食料・農林水産業等の基盤分野での国家戦略の新たな策定や研究開発等の確実な実施
- (5) イノベーション・エコシステムの強化
 - SBIR制度、アントレ教育、スタートアップ拠点都市形成、産学共創システムの抜本的強化
- (6) スマートシティの展開
 - スマートシティ・スーパーシティの実現、官民コンソーシアムによる水平展開、国際展開

知の拡張とイノベーションの源泉となる研究力の強化

- (1) 研究システムのデジタルトランスフォーメーション
 - 研究データの共有促進、スマートラボ・AI等を活用した研究加速、研究設備・機器の整備・共用、研究DXが開拓する新しい研究コミュニティ・環境の醸成
- (2) 多様で卓越した研究環境の再構築
 - 若手研究者ポストの確保、女性研究者の活躍促進、国際共同研究・国際頭脳循環の推進
 - 博士課程学生の処遇改善(学内奨学金・フェローシップ、RA支出促進、長期インターンシップ)
 - 人文・社会科学の振興(ファンディング強化、人文・社会科学研究のDX化)
- (3) 大学の機能と経営力の強化
 - 大学の個性化(自律的契約関係に基づく機能拡張や戦略的経営の実現)
 - 大学等ファンドの創設

未来を見据えた教育・人材育成システムと資金循環環境

- (1) 探究力・学び続ける姿勢を強化する教育・人材育成システムの構築
 - STEAM教育、教師の負担軽減、初等中等教育におけるGIGAスクール構想の推進、リカレント教育の充実
- (2) 知の創出と価値創出のための資金循環環境の整備
 - 研究開発投資目標の設定、政府投資を呼び水とした民間投資の活性化、大学等ファンド